

サブローデキストロースクロラムフェニコール寒天培地(SDCA-F)

Sabouraud Dextrose Chloramphenicol agar (SDCA-F)

非菌医薬品における酵母およびカビの菌数測定

用途

サブローデキストロースクロラムフェニコール寒天培地は、非菌医薬品における酵母およびカビの菌数測定に使用します。本培地はヨーロッパ薬局方で推奨されています(C agar medium)。

原理

高濃度のブドウ糖が真菌の増殖を促します。pH が酸性であること、および 50mg/L のクロラムフェニコールを含んでいることにより、ほとんどの微生物種が発育が阻害され、選択性が高まっています。

キット構成

調製済み培地		
REF 42620	ボトル培地	200ml × 6 本

組成

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

肉およびカゼインペプトン(ウシおよびブタ)	10g
ブドウ糖	40g
クロラムフェニコール	0.05g
寒天	15.0g
精製水	1l
pH5.6	

必要な試薬および器材

試薬:

- ペプトン緩衝液 pH7 (Ref. 42609)

器材:

- 滅菌済みシャーレ
- ウォーターバス
- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がいらないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。安全ガイドライン: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current

Revision» 操作留意事項: Biosafety in

Microbiological and Biomedical Laboratories -

CDC/NIH - Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地は使用しないで下さい。
- ご使用前に、フタに破損がないことをご確認下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- 箱未開封の状態、15-25 °C で有効期限まで保管可能です。
- シャーレに分注後は、2-8 °C で 1 週間保管可能です。
- 本培地はボトルに入った状態で 2 度まで溶解可能です。

検体

ヨーロッパ薬局方に従い、検体の収集・調製を実施して下さい。

混釈法には、サンプルの 10 倍希釈液(ペプトン緩衝液使用) 1ml を使用して下さい。

使用法

- ボトルのキャップを緩めます。
- 約 50 °C にセットしたウォーターバスにボトルを移し、95 °C まで加熱して培地を溶解します(約 45 分)。
- キャップを締めなおし培地を攪拌します(やけど防止の為手袋をご使用下さい)。
- 15 秒以上室温に放置した後、45 °C 以下にセットしたウォーターバスにボトルを移します。使用するまでこの温度に保温します(30 分を超えないこと)。
- ヨーロッパ薬局方に従いサンプルを接種します: サンプル希釈液 1ml を滅菌シャーレに接種します。45 °C 以下に保温した本培地 15-20ml を分注し、注意深く攪拌します。水平な場所に放置し培地を固めます。20-25 °C で 5 日間まで培養します。連続した希釈段階につき、それぞれ 2 重測定を実施します。

判定

- 培養後真菌の発育を確認します。
- コロニーが最も多くみられる希釈段階のシャーレの結果を採用します(ただし 100 を超えないこと)。
- コロニー数を数えます。
- 結果の判定および菌数測定は、ヨーロッパ薬局方に従って実施して下さい。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。

各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

留意事項

- 本培地はほとんどの細菌の発育を抑制しますが、*Pseudomonas* の一部の株は発育することがあります。
- *Rhizomucor pusillus* など一部のカビは、18-25℃で7日間培養する必要があります。
- サンプルは多岐に渡るため、用途に応じ培地をバリデーションされることをお勧めします。

廃棄処理

使用済みもしくは未使用の試薬は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って廃棄して下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. SABOURAUD R. - les Teignes (Masson, Paris 1910)
2. Lorian (ed.) - 1980 - Antibiotics in laboratory medicine - Williams & Wilkins, Baltimore.
3. European Pharmacopoeia 5.0.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
	ロット番号
	使用手順を参照

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階



bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>